

いっしょに新たなステージへ

「新北海道スタイル」

感染拡大に強い社会をつくる 新北海道スタイル

上杉 皆さん、ご参加いただきありがとうございます。よろしくお願いします。鈴木知事、道が新型コロナウイルス対策として進めている「新北海道スタイル」についてお話しいただけますか。

知事 北海道では、日本でも早い段階で感染が確認されたから、長い闘いが続いています。まだわからないことがたくさんありますが、こういった対策をすくばる感染につながりにくいということも徐々にわかってきました。そのように感染リスクを減らしながら、社会経済活動を両立させ、新型コロナウイルスに強い社会をつくるために提案しているのが新北海道スタイルです。

上杉 社会経済活動と両立する取り組みが広がるといいですね。皆さんはどんなことに取り組んでいますか。

野々村 基本的に選手やスタッフが感染しないよう、健康チェックを毎日行っています。2月から検温を欠かす。体調管理を地道に続けてきたので、これまでの感染者はゼロです。おかげで多くの皆さんに支えられ、開幕にこぎ着けることができました。

伊藤 うちの会社は中国に取引先があるのでも、感染拡大の深刻さについて早くから情報を得て、時差出勤や在宅勤務などの予防策に取り組んできました。良かったと思うのは、インターネットを通じて遠隔会議の仕組みを活用することで、社内外のコミュニケーションが活発になったことです。広い北海道だからこそ、IT企業に限らず多くの業種で遠隔会議は有効だと思います。

ん割 (左表参照)です。新北海道スタイルを実践している観光事業者の旅行商品や、せひ道民の皆さんに積極的に利用していただきたいと思っています。観光に限らず、今後さまざまな分野で道内、国内、海外へと活動レベルを段階的に上げていくためにも、足元の地域でその土台をしっかりとつくるのが大事だと思います。**HOKKAIDO LOVE**や**モバイルスタンプラリー**(左表参照)も、その取り組みの一環です。


新たな需要を取り込み ビジネスチャンスを広げる

杉本 旅館は2月からシーンとしていましたが、このみんな割の発売前から電話が鳴り止まなくなり、流れが変わりました。この雪囲気(ゆきかき)を今後は私たち事業者が絶やさないように独自のプランをつくったりしたいですね。それに続く形で頑張りたいと思います。いまだからこそ、手摘みの岩のりのお弁当を通販でお出ししたり、地元のお花を旅館のお部屋に置いたり、小さな活動ですが、この北海道にこだわり抜いて地域の光になっていきたいですね。

新北海道スタイルに関連する道の取り組み

- 北海道コロナ通知システム
施設利用やイベント参加の際、QRコードからメールアドレスを登録すると、同じ日に同じ施設を利用した人の中から感染者が発生した場合に、体調管理などを促すメール通知が届く仕組みです。札幌ドームで開催されるJリーグやプロ野球の試合にも導入されています。
- ▶道庁新型コロナウイルス感染症対策本部
TEL:011-206-0289
北海道コロナ通知システム

●どうみん割



旅行需要の早期回復を目的に、道内での宿泊旅行商品などを販売する観光関連事業者に、道が予算の範囲内でその代金を割り引く制度です。新北海道スタイルを実施している事業者の商品が対象です。

▶どうみん割事務局 TEL:011-208-7002
▶道庁観光局 TEL:011-204-5306

●HOKKAIDO LOVE!

「#hokkaidolove」をつけて北海道での素敵な思い出をSNSに投稿いただくキャンペーンです。思い出の北海道を投稿しませんか。

HOKKAIDO LOVE!

▶道庁観光局 TEL:011-206-6597

●地域の魅力を再発見するモバイルスタンプラリー

新北海道スタイルを実践しながら、お住まいの振興局管内を巡るモバイルスタンプラリーです。抽選で地元の特産品などが当たります。

▶道庁地域戦略課 TEL:011-204-5131
 (7月下旬公開予定)

杉本 旅館というのは日本文化そのもので、お客さまの部屋に入ってお茶を出したり布団を敷いたりなど、従来はソーシャルディスタンスがなじみにくい空間でした。でも、伝統を守りつつ変化をさせていく上で新北海道スタイルというきちんとした形で提示をしてもらおうとお客さまへの案内が非常にしやすくなります。現在は、お客さまを迎える前に部屋の除菌を完了させ、仲居が入らないようなマニュアルをつくって実践しています。お客さまの安心は大前提ですが社員にも受け地である松前町の方々にも安心して迎え入れてもらえる環境を整えながら、私自身も「新女将スタイル」をつくっていききたいと思います。

知事 北海道では、ここに行ってもそういう気持ちで多くの方を迎えようとしているんだという発信をしていくことが、ますます大事になると思います。新北海道スタイルによる安心感を、北海道のブランド化につなげていきたいと思います。

上杉 鈴木知事、北海道コロナ通知システム(左表参照)の利用が広がっているそうですね。

感染拡大防止に役立つ 北海道コロナ通知システム

上杉 鈴木知事、北海道コロナ通知システム(左表参照)の利用が広がっているそうですね。

登録を受け付けています。そのアプリを通じて地域のイベントや観光ビジネスの情報を継続的に発信することによって、関係人口や実質的な人口増を目指しています。インターネットを通じて北海道を応援する仕組みがあることで、既存の産業に必ずプラスの効果をもたらすと考えています。

野々村 伊藤さんがおっしゃるように、スポーツにもパーチャルやITの力が必要だと感じています。一方でスポーツはリアルな部分をどれだけ追い求めるかも大事です。お客さんが本気になって大声で応援し、選手たちのレベルが上がっていくか。それは、これから先も決して変わらないテーマです。また、僕らはプロサッカークラブですから、サッカーを通じて北海道は安心で楽しそうだと感じて世界に発信したいですね。うちのクラブにいるタイ代表のチャナティップ選手などを通じて、北海道の元気な姿をタイの人たちにどう伝えていくかということも大事だと思います。

上杉 では、最後に皆さんから一言ずつお願いします。

伊藤 いまは変わるチャンス、変えていくチャンスなのかもしれません。感染症対策にとだけ取り組めるかという意味で、北海道は、未来社会の開拓地の役割

をやるうと思っただけです。

伊藤 感染拡大防止アプリは他国にもありますが、日本で展開するならば、個人情報の取得を最小限にする仕組みが大事だと考えていました。開発したアプリは汎用的に使えるので、全国に無償で提供しています。

野々村 僕らのようにサッカーの試合会場で活用した場合、お客さんはどのように登録するんですか。

伊藤 お客さんはスマホでQRコードをスキャンして、メールアドレスを登録するだけです。他の個人情報は一切必要ありません。事業者さんは、申請後にPDFファイルをダウンロードして印刷すれば、告知用のポスターや卓上スタンドを作成することができます。

上杉 これなら杉本さんも旅館で使いやすいんじゃないですか。

杉本 いいですね。事業者としては、こういうものがあると風評被害を防げますし、個人情報を取り扱う負担がなくなります。ぜひ使わせていただきます。

まずは道内で しっかりと上を目指そう

上杉 鈴木知事、新北海道スタイルは今後どのように進んでいくのですか。

知事 まずは、土呂(とろ)づくりとなる取り組みが重要だと考えています。実は、北海道内の観光客数の約85%は道民の皆さんです。地元による観光利用の高さは日本一。つまり北海道は、道民の皆さんの地元愛で観光を支えている最も力強い地域だといえます。

上杉 へえ、そなんですね！

知事 そこでスタートしたのが、**どうみん割** を担っていると思います。

杉本 今日いろいろな情報を共有できて前進しているか、ということを感じられたのが何よりうれしく、また明日から頑張れる糧ができたと思います。

野々村 コロナ禍によって、近くにいる人たちの影響力の大きさをあらためて感じました。以前とまったく同じ世界に戻する必要はないですが、これからどんな新しい世界がサッカー界に訪れるか、僕自身も楽しみにしています。

「知るほど!なるほど!」
北海道

STV
2020年
7月25日(土)
午前9時25分~
(予定)

北海道広報番組
「知るほど!なるほど!北海道」
広報番組では、この座談会の模様をさらに詳しく紹介します。ぜひご覧ください。

温泉旅館矢野 女将
杉本 夏子さん
松前町の老舗旅館を経営。
「津軽海峡マグロ女子会」の北海道側代表。



株式会社コンサドーレ
代表取締役社長CEO
野々村 芳和さん
プロサッカークラブ
「北海道コンサドーレ札幌」の運営会社を経営。



司会
上杉 周大さん
ミュージシャン、タレント。
北海道広報番組
「知るほどなるほど北海道」の司会進行役。



北海道知事
鈴木 直道



クリプトン・フューチャー・メディア株式会社
代表取締役
伊藤 博之さん
歌声合成ソフトウェア
「初音ミク」の開発で知られるIT企業を経営。



社会生活・文化活動の継続と安心の確保

社会生活・文化活動の維持・継続を図り、暮らしの安心を確保します。

- ▶学習指導員の道内全学校への配置(私立は支援)
- ▶小中学校等へのスクール・サポート・スタッフの追加配置
- ▶中止となった部活動全国大会の代替開催支援等
- ▶生活困窮世帯に対する「生活福祉資金」の積み増し
- ▶ふるさと納税を活用した文化芸術・エンターテインメント活動の再開支援

経済活動の継続と段階的拡大

徹底した感染拡大防止対策を進めながら、社会経済活動の継続と段階的な拡大を図っていきます。

- ▶最大5年間繰上置き・3年間実質無利子・保証料全額補助の制度融資の枠拡大(融資枠3,000億円→1兆円に拡大)
- ▶離職者の再就職を支援する相談体制の整備
- ▶「新北海道スタイル」に対応し、感染リスクに配慮した「教育旅行」の取り組み支援
- ▶プレミアム付き商品券などによる需要の喚起(道産食品の消費喚起、公共交通機関の利用拡大、市町村と連携したプレミアム付き商品券)
- ▶休業要請等に協力いただいた企業に対し、感染症対策に取り組むための支援金を交付
- ▶地域の魅力を再発見するモバイルスタンプラリー
- ▶道内旅行商品割引(どうみん割)の実施

第3波以降に備えた 医療提供体制等の充実強化

今後想定される第3波以降に備え、検査や医療提供体制の一層の充実強化を図り、影響の最小化を目指します。

- ▶検体採取に特化したPCR検査センター増設
- ▶軽症患者等が療養する「宿泊療養」の体制整備(道央圏域を除く5圏域)
- ▶医療従事者等への慰労金支給(最大20万円)
- ▶ふるさと寄附金「エールを北の医療へ」を活用した医療従事者への感謝品贈呈と医療用資機材の整備
- ▶介護・障がい福祉事業所等従事者への慰労金支給(最大20万円)
- ▶クラスターへの対応の強化(介護職員等の応援派遣等)

「新北海道スタイル」の浸透・定着

道民生活や事業活動のさまざまな場面で「新北海道スタイル」を浸透・定着させていくための取り組みを強力に展開します。

- ▶道民や事業者の皆さまに向けた周知
- ▶取り組みの可視化促進(施設・店舗への巡回訪問、ステッカー作成・配布)
- ▶新北海道スタイル推進協議会の設置
- ▶各個別事業の中で浸透・定着に向けた取り組みを促進

新型コロナウイルス感染症に関する緊急対策

▶道庁政策局 TEL:011-204-5132

- 第2波の早期収束と、第3波以降に備えた感染拡大防止対策に万全を尽くしながら、社会経済活動のレベルを段階的に拡大していきます。
- 道民と事業者の双方が「新しい生活様式」を実践しながら、感染リスク低減につなげる「新北海道スタイル」の取り組みを各分野で展開します。

第3弾の補正予算額…300億円(対策規模:391億円)
第4弾の補正予算額…3,677億円(対策規模:8,771億円)
予算額累計(第1弾～第4弾)…5,088億円(対策規模累計:1兆2,793億円)